

図書館だより

HGU Library

library.hgu.jp

vol.221

December 2019

新しい本の読み方

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

デジタル化の光と影 図書館長・人文学部教授 大谷 通順

ようこそ Maruzen eBook Library へ 丸善雄松堂株式会社 河村 真理

本のおかわり 青空文庫

【画像提供】国立国会図書館

古い本の新しい読み方

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

どうしても読みたいあの本が絶版で手に入らない—そう思って諦めていませんか？

その本、もしかしたらパソコンで読むことができるかもしれません。もちろん印刷して読むことも。

それを叶えるのが、国立国会図書館が提供する「デジタル化資料送信サービス」です。

このサービスは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料（約149万点）を全国の公共図書館、大学図書館等で閲覧・複写（印刷）できるサービスです。

2019年8月26日から、本学図書館でもこのサービスが利用可能となりました。

この機会に、どうしても読めなかったあの本を、もう一度探してみませんか？

利用可能な資料（2019年7月現在）

図書	昭和43年までに受け入れた図書、震災・災害関係資料の一部 約57万点
古典籍	明治期以降の貴重書等や清代後期以降の漢籍等 約2万点
雑誌	明治期以降に発行された雑誌（刊行後5年以上経過したもので、商業出版されていないもの） 約1万タイトル（約79万点）
博士論文	平成3～12年度に送付を受けた論文（商業出版されていないもの） 約12万点
脚本	日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムから寄贈された昭和55年以前の放送脚本（テレビ・ラジオ番組の脚本・台本）の一部 約3千点

国立国会図書館のホームページから、資料の一覧をExcel形式でダウンロードできます。
https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission



【画像提供】国立国会図書館

左上：御旗本備作法（江戸中期頃）

左下：十二月遊び・下（寛文・延宝頃）

中央左：上州富岡製糸場之図 / 一曜齋国輝（寛文・延宝頃）

中央右上：文久年間和蘭留学生一行の写真（文久年間）

中央右下：Monthly changes of Japanese street-scenes: calendar for 1901 / 長谷川武次郎（1899.12）

右：和洋菓子の製法 / 法令館編輯部 編（大正13）

利用対象者

本学学生、教職員、その他本学図書館の Library Card を有する方
(ただし、延滞資料のある方を除く)

※国立国会図書館が定める利用条件により、それ以外の方はご利用になれません。

資料の閲覧

本館2階の専用端末(1台)で資料を検索し、デジタル化資料の本文を画像で閲覧することができます。利用の際は、学生証又は Library Card を持参の上、サービス・カウンターへお申込みください。閲覧時間は9時00分から21時45分までです。

資料の複写(印刷)

資料の複写(画像の印刷)を希望される際は、閲覧専用端末に備え付けの「複写申込書」に必要事項をご記入の上、学生証又は Library Card と併せて、レファレンス・カウンターへお持ちください。著作権法で認められた範囲内で、図書館のスタッフが印刷を行います。

※複写料金は利用者の実費負担(カラー1枚50円/モノクロ1枚10円/現金又は大学生協コピーカードによる支払い)となります。

※複写の受付時間は、レファレンス・カウンター取扱時間内に限ります(時間内でも都合により受付できない場合があります)。

[レファレンス・カウンター利用時間]

平日：9時00分～12時40分、13時30分～16時30分
土曜：9時00分～12時00分

国立国会図書館デジタルコレクション <http://dl.ndl.go.jp>



国立国会図書館デジタルコレクションは、国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービスです。収録資料は、以下のとおり3つの公開範囲で提供されています。各資料の書誌情報(タイトル、著者、出版者など)や目次情報は、すべての公開範囲について、国立国会図書館デジタルコレクションで自由に検索・確認することができます。

①インターネット公開資料

著作権など権利状況に問題がないことが確認できた資料です。インターネットをご利用いただける環境であれば、どちらからでも閲覧できます。

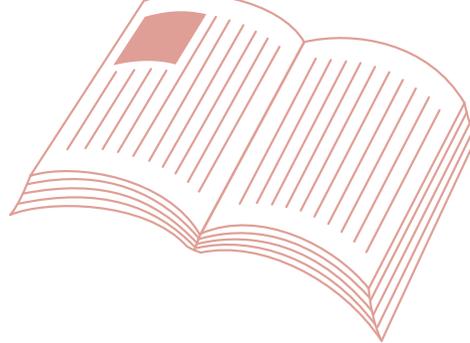
②図書館送信資料

著作権保護期間が満了していない資料や著作権の確認が未完了の資料、著作権確認の対象範囲に入っていない資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料です。デジタル化資料送信サービスに参加している図書館で閲覧できます。

③国立国会図書館内限定資料

上記にあてはまらない資料です。国立国会図書館での閲覧に限られます。





デジタル化の光と影

図書館長・人文学部教授

大谷 通順



OTANI Michiyori
1985年北海道大学大学院文学研究科中国文学専攻博士課程中退。北海道大学助手を経て、1989年本学教養部講師、1992年同助教授、1997年同教授、1998年人文学部教授、2017年図書館長。専門は中国文学、研究テーマは明清小説研究、中国伝統博戯研究。

三歳のとき、家にテレビが入った。子供ながら、ブラウン管のなかに別世界が見えることから強烈なインパクトをうけたのだろう。こんな夢を見たことがある。小さな画面のなかを、絵本や玩具やお菓子が、ベルトコンベアの上のついているようにゆっくりと流れていく。欲望に突き動かされて、ふと手を伸ばすと、なんと欲しいものがテレビのなかから取り出せるのだ。惜しくもまもなく目が醒めてしまったが、起きてからも至福の余韻がしばらくのこっていたことを今もはっきりと覚えている。

現在ではその夢がほぼ現実のものとなった。インターネット経由でコンピュータのディスプレイ上に現れるモノは、直接、間接に手に入れることができるようになったのだ。

その後、あれはIBMだったろうか、「田舎にいながらインターネットで研究論文が書けた」というようなキャッチフレーズのテレビCMを見たことがある。当時は、私もすでに資料収集

や通信連絡の面でネットの恩恵をうけており、空間や時間の隔たりを超越して、人と人が協働できる未来がくることには確信をもっていた。しかし少なくとも自分の関わる分野では、コンピュータのまえに座っているだけで仕事が完成するような状況に、おいそれとはならないだろうとも思った。

そもそも私の扱うテキストは、すべてが現行の一般的な文字データに置きかえられ、任意のフォーマットに流し込んで読めるとは限らない。清水徹氏は一九世紀フランスの小説『シャルル・ノディエ』『ボヘミア王と七つの城の物語』をはじめ、一群の作品を取りあげて、書物の形態、ページ上の文字配置、余白とさし絵の位置など、「書物としての物質的形態」が重要な意味をもつ分野が文学の世界に存在することを強く訴えている（『書物について——その形而下学と形而上学』）。

そこまで意識的ではないが、私が読む清代末

期の新聞や雑誌にしても、大小の段組、多様な字体、そして細密なさし絵によって、変化に富んだ紙面（誌面）をつくる工夫はすでになされていた。私が使うデータベースにはそれらを文字コードに置きかえたものがあり、検索でたいへん重宝しているが、しかしモニター上で読むテキストは、原物にくらべて伝達される情報が著しく貧弱だ。しかも光学読みとりプログラムの不備からだろうが、漢字の誤読や段落の取りちがいが多い。それを補正するためには、別立ての画像情報に頼るほかない。また当然、文字であれ、画像であれ、そのコードからは、原物をもっていった触感、重さ、匂いなどの情報は捨象されることになる。

画像データにしても問題は少なくない。不鮮明だったり、無彩色だったり、さらには単純ながら、次のような処理の不手際さえ起こる。線装本の場合、しばしば綴じを開いて各葉を原稿用紙のように画像化するのだが、そうすると、

本来は見開きでつくられた図像が前葉と後葉のあいだで生き別れになってしまうのだ。もっとも以上の問題は、気をつけてひと工夫しさえすれば技術的には解決可能なものばかりだ。

それよりも根本的な問題が二つある。

第一に、そもそも「読む」ことは、単にだからによってコード化された文字列を追うことだけではなく、まだコードが与えられていない最初の記号に読者自身がコードを与えてやるような営為をふくむ、ということである。

私の興味に引きつけて述べると、じつは最近の中国では、漢代に遡る大量の竹簡が次々に発見されており、その解読から新たな知見がもたらされている。しかし私たち読者が「読み」を与える作業に入る以前に、出土文物はまず中国の研究機関で綿密な整理や解読をうけなければならない。その後、速報的な記事として学術雑誌に発表されるか、あるいは豪華な図版付き報告書として数年後に出版される。いずれの形をとるにせよ、伝統的な紙媒体による情報提供を待たなければ、部外者の目に原初の記号が触れることはないのだ。

第二は、竹簡に記された二千年以上まえのテキストは、ひよんなことから私たちの目のまえに立ち現われるのに、デジタル化されたテキストはたして二千年後も読めるのか、はなはだ心もとない、ということである。

個人的な実体験として、東販が運営していた電子書籍サービスが昨年終了してしまった。ダ

ウンロード済みの医学文献以外は、すべての書籍・雑誌が閲覧できなくなるという通知だったので、かなり慌てたものだ（幸いビューアをインストールした機器では、現在もまだ閲覧可能だ）。

ネット上での閲覧を前提とするデータベースや電子書籍は、すべて同様の危険性をはらんでいる。それに対処するため、二〇一一年に組織された大学図書館コンソーシアム連合（JUS TICE）は、電子リソースの長期保存とアクセス保証を求めて、企業にはたらきかけると同時に、図書館どうしの協力をうながしている。しかしあらゆる分野の資料をおおう保障にはいまだなっておらず、一般読者を相手に出版・販売される電子書籍は、あいかわらず収録媒体、OS、記録形式などの改変・淘汰にともなって、比較的短期間のうちに読むことができなくなっている。その寿命は、伝統的な記録媒体（紙、皮布、石、金属、木、竹など）よりもはるかに短い。フランスの劇作家、ジャンクロード・カリエールの友人は、このように短命な電子媒体に対して十八台のコンピューターを地下倉に備えているという（『もうすぐ絶滅するという紙の書物について』）。私自身もそこまで徹底してはいないが、古いOSや接続機器のために複数のコンピューターを維持せざるを得ない。それがせめてもの自己防衛だ。

しかし同氏の懸念はそこにとどまらず、コンピューターを動かす電気がいつまでも供給され

るかのような思い込みまで警鐘を鳴らす。確かに指摘されてみれば、それはデジタル情報にとって致命的な弱みであるし、まちがいがなくデジタル機器への充電は日々私たちの心を煩わせる小さな仕事になっている。また同氏と対談するウンベルト・エーコ氏は、飛行船やコンコルドが姿を消したことを引きあいに出して、インターネットという発明そのものが淘汰される可能性さえ指摘する。むろん人類がそのような大変動に直面して、むざむざ蓄積したデータをすべて失うことはなからう。しかし私などが個人レベルで犯す、ミスによる小規模なデータ喪失を思えば、やはりじゅうぶんな準備と注意は欠かせまい。

ともあれ、デジタル化資料はデータの検索や可搬性などにおいて絶大な利便をもたらすものゆえ、精いっぱいその力を伸ばし、活用したいところである。その一方で、それが完全無欠、全知全能ではないことを認識し、弱点に備えるとともに、欠けたところを補うために別の道を用意しておく知恵も必要であろう。



ようこそ Maruzen eBook Libraryへ

丸善雄松堂株式会社 河村 真理
学術ソリューション事業部 札幌営業所

こんにちは。書店の丸善雄松堂です。このページでは電子ブックの紹介をさせていただきます。

図書館のホームページから電子ブックが読めることを、みなさんはご存知ですか？

弊社が独自に開発運営する「Maruzen eBook Library」電子ブック配信サービスにて

現在 2644 タイトルが図書館ホームページから閲覧可能となっております。

ダウンロードや印刷も可能です（1ログインにつき60ページまで）。

とは言え、ここまでだと「へえーそうなんだあ」で終わって実際に読んでみよう！

とまではいかないですね・・・

学生のみなさんがこれは便利だなあと思うであろう具体例を書籍と共にご紹介いたします。



例① 就職活動

就活に向けて、いろいろな対策をされていますよね。

導入済みタイトルの「週刊東洋経済 e ビジネス新書」「週刊ダイヤモンド」「マイナビ内定獲得のメソッドシリーズ」「マイナビ要点マスターシリーズ」これらは就活にきつと役立つ雑誌と書籍です。

「週刊東洋経済 e ビジネス新書」「週刊ダイヤモンド」は人気ビジネス雑誌を電子化したものです。シリーズ内検索が可能で、自分が知りたいキーワードが抽出されるため、企業研究・業界研究に大変役立ちます。

「マイナビシリーズ」こちらはすでにお持ちの方もいるかもしれませんがね。実際の面接やSPI等の試験対策に役立つ就活対策本です。自己分析～試験対策～面接対策～とシリーズ内の自分の気になるポイントを印刷してノートにまとめるといいかもしれません。それが電子ブックだと簡単にできます。

就活対策のアイテム。今はたくさんあるので、みなさん自分で取捨選択していると思いますが、大学が揃えているものをとことん利用して活用してみませんか？

例② 卒論・ゼミ論・レポート作成



卒論・ゼミ論は文献集めが重要ですよ。やっと決まった卒論テーマ。さあ、図書館で本を探そうと思ってOPAC検索すると無い…！ あっても貸し出し中…！ あっても禁帯出…！ 準備万端の学生さんには全く理解できないことかもしれませんが起こりうる事態です。電子ブックは、紙ではもう手に入らない古い本が電子化されて発売しているものも多いので、卒論を書く前に一度、電子ブックで気になるものがないかどうか探してみたいです。ヒントがあるかもしれません。

例③ 英語学習

画像の Macmillan Readers の「Michael Jackson」、読んだことがある方もいると思いますが、正直ちょっぴりポロポロだし、意味がわからない単語にペンで印をつけたりしたいなーなんて思いませんでしたか。

そんな Macmillan Readers の電子ブックが導入されています（右の Michael Jackson も）。

学内パソコンからログインしてダウンロードのあと印刷してしまえば移動中も読めるし、メモも記入できてストレスフリー。

個人的に、紙より電子ブックで読んでほしいおすすめ

No. 1 が英語多読本です！

英語の本をたくさん読んで自然と英語力を身につける「多読法」。ほかにもたくさんの方の多読用の本が電子ブックでも導入されているので、気軽に英語をインプットしませんか。



※その他英語多読シリーズ

- ・「Page Turners」…日本人英語学習者向け多読シリーズ
- ・「Read Smart Readers」…レベル別英語ポケット文庫シリーズ。レベル基準は英検
- ・「For dummies」…あらゆる分野の入門書。一部導入済み。

例④ 旅行ガイド



みなさんご存知「地球の歩き方」が一部の国のみですが導入しております。

最近は旅行に行くのもインスタやTwitterやブログで情報収集して、現地でWi-Fiを借りてスマホで地図を見れば充分ではありますが、旅のプロたちが書いた旅行ガイドブックを事前に見ておくことは更に旅行を楽しむかと思えます。そして治安・マナー・貨幣・空港・大使館情報など、海外旅行に行くにあたって絶対に押さえておかなければならない情報もちろん掲載されています。そのページだけでもダウンロード・印刷して旅行に持っていけば、万が一のトラブルに備えることができるでしょう。

※現在電子ブックで導入している国

フランス '18-'19 改訂 / パリ & 近郊の町 '18-'19 改訂 / イタリア '18-'19 改訂
 ミラノ ヴェネツィアと湖水地方 '18-'19 改訂 / 地球の歩き方 A12 フィレンツェとトスカーナ '17-'18 改訂 / ドイツ '18-'19 改訂 / ウィーンとオーストリア '18-'19 改訂
 スイス '18-'19 改訂 / 韓国 '18-'19 改訂 / ソウル '17-'18 改訂 / マレーシア ブルネイ '18-'19 改訂 / ミャンマー (ビルマ) '17-'18 改訂 / スリランカ '18-'19 改訂
 ドバイとアラビア半島の国々 アラブ首長国連邦 オマーン カタール パーレーン サウジアラビア クウェート '18-'19 改訂

電子ブック (e-book) を読もう!! (Maruzen eBook Library)

みなさんは、図書館のホームページから、大学で契約している電子ブック (e-book) が閲覧・ダウンロードできることを知っていますか?ここでは、Maruzen eBook Library の閲覧方法を紹介します。

まず、図書館のホームページから入り、電子サービスの「電子ブック」をクリックしてください (下図赤丸部分参照)。



ここまで読んで、実際にどうすれば読めるのか?とお思いですよね。詳しくは図書館ホームページの「図書館利用お助けツール」の電子ブック (e-book) を読もう! (Maruzen eBook Library) をご覧ください。ご自宅から電子ブックにアクセスすることも可能ですので、そちらは図書館スタッフまでお尋ねください。みなさん、ぜひ一度は学内PCから電子ブックのお試しを!

